

# 黙示録4章1

ジェファソンビル インディアナ州 アメリカ合衆国

1960年12月31日

1 アーメン。主を褒め称えましょう。[テープ上の空白のスポットー 編集。]…。それが多くの人の態度だと思えます。それはすごく素晴らしい、最後の節は、そこにいるすてきな姉妹です。私は確かにそれを感謝しています。そして、私たちは…新年の夜に入るので、あなたはこの夜にこれ以上適切なものを歌うことができるとは思いません。

今年は良い年の始まりの様です、ええと、良い雪に覆われ外は滑りやすいです、この時期の典型的なインディアナの天気ですね。ジョージアから来た人達がここにいますね、そしてオハイオからもの方がいるのも見えます。さて、ダウチ兄弟、あなたとダウチ姉妹はそれが何であるかをご存知ですよ、オハイオ州は同じです。そして…しかし、私たちはそれのない土地に行きます。ええと。それがそうです。

2 これは大晦日の夜です。そしてもちろん、みんなが書いた誓約と新年の誓いを立てれば、明後日にはすべて破られるでしょう。そして、ご存知のように、毎年新しいページを開いたとして、翌朝戻ってもう一度やり直しますね。

しかし、私が言いたいことが1つだけあります。それは使徒パウロが言ったように。「後のものを忘れすべての私の間違いやすべての私が過去にした事を忘れて、キリスト・イエスにおいて上に召して下さる神の賞与を得ようと努めているのである。」私が持っている唯一の後悔は、去年の私の過ちと私の人生の過去の部分であり、私はへりくだって彼に、高い召しに向かって進んでいく恵みを求めるのです。それが私たち全員の証であると確信しています。

3 とても悪い夜で、そして人々が来ることができなかつたことを謝りたいです。そして私はネヴィル兄弟に電話しました、彼がここに来ることができるかどうかさえ知りませんでした。それから、スキヤッグス兄弟が現れて、彼はケンタッキーのずっと南の方から来て、そこで彼女は3フィートであるいはそこにいた方が良かったかもしれません。そして…または、「このようなものについて」と彼が言ったので、彼は農夫がいて数回引き出し、トラクターで彼を丘の上に連れて行きました。そして、私は「まあ、それが2インチか3インチだとしたら、そのような状態なら、それは構わない」と考えました。しかし、道は通行可能で、誰もが進んでいます。

4 さて、もちろん、今夜は、さまざまなミニスター達、いろいろな方たちが来る夜です。そして、彼らはおそらく今夜、真夜中までさまざまなどころからやって来るでしょう。私は彼らが設定して、新年が来るために、年長の人達が来るかどうかを見守ると思えます。そして通常、彼らは祭壇を回って祈り、そして神に誓いを立て、そして彼らの誓いを新たにします。

私はネヴィル兄弟に言いました…そして、私は彼が来るかどうか確かめるために電話しました。彼が来なかつたら、私はできる限り最善を尽くすようにしようと言いました。そして、もし彼が朝ここに来ることができなかつたなら、どうにか、私は彼がいる間、私ができる限りのことを続けていました。彼はここにいませんでした。そして、私は今夜、15分のメッセージか何かをただすることについて考えてみるつもりだと彼に言いました。そして、私たちはあなたがここに座って待っている他の何人かのミニスター達がいるのが分かります。

だから、私は…私は始めて、この黙示録を続けようと思っていました、すぐ進んで、今、第4章を取り上げて、始めて行きます。今回はうまくいなくても、次回は続けます。それから、5章そして6章、そして私たちができる形で主は私たちがそれを乗り越えるのを助けてくださいます。

5 私が始める前に、…から少し前に訪問されたことに関してお話したいのです…ドラモンド・トム兄弟とその妻。これは今夜ここに座っている彼女のお母さまとお父様です。そして、彼らは素晴らしい魂を救う奉仕と神の癒しの奉仕をしに行ってきたアフリカからちょうど戻ってきたばかりです。この小さな女性は彼女の…を連れて行った…私は彼女の祖母の場所、先日、そして刑務所での奉仕を持っていて、そして罪人が主に来ること、そしてすべての事をしてしていると信じています。神がその若い夫婦をどのように使っているかはただ素晴らしいことでした。彼らは伝道をするためにしばらくアメリカにいます。

もしあなた方牧師の内の誰かが…ドラモンド兄弟に手紙を書きたい…ドラモンド、私は、ええ、その名前はすべて混同しています。なぜ彼は良い英語の名前をつけてそれを忘れてしまったのでしょうか？彼に番号を与えてみましょう、私はそれを得ることができないからです、いやいや。私たちの半分がそれをが分かるとは思えません。「ドラムモント」がそれを発音する正しい方法だと思います。そしてシャーロット姉妹。もしあなたが他の誰でも、彼らがいいたらと思うのであれば、私は彼らがあなたの教会に入るのを聞いてみたいと思います。

6 その女性、このシスター・シャーロット、彼女はただの子供です。彼女はしばらく前に、アフリカで経験したことをメダに証言していました。私が言えるのはそれが…ビリー、それが昔の事を思い起こさせました。アフリカーンス語を話しているかのように聞こえました。そして、その戦いはここにも同様にあります。

だれかがドラモンド兄弟に…そしてシャーロット姉妹に彼らの教会でのキャンペーンを望んでいるなら、あなたはメルローズ7-3945でトニー・ザベル兄弟に連絡をして下さい。あなたがそれをしたいのであれば、あなたの方の内のミニスターの何人か、私は確かに…兄弟を勧めます…彼は良い説教者であり、誠実な男の子であり、それは本当に始める必要があるので、始めさせてあげましょう。そして、彼は恐れを知らない、いい子であり、私は彼がとても好きです。さて、あなたは覚えておいてください、MELrose 7-3945。そして、この小さなカードはここに置いておきます。あなたの方がもしそれは彼らのカードであり、もしあなたがたまたま番号を書き留めておくことができ買ったならば、まあ、あなたはそれを取りに来るか、今夜異なる礼拝の間の休憩の後いつでも来ることができます。そして、集会のためにあなたの教会のいくつかに彼らに来て行きたい場合、またはあなたが彼らを望んでいる誰かを知っているならば彼らがアメリカ中で伝道旅行をしているからです。

それは何かではありませんか？アフリカはここアメリカに宣教師を派遣しなければなりません！ここは彼らが必要とする場所で、ここは、あそこよりももっと必要とされる場所です。

7 それで、主があなたをもう一年間救ってくれていることを何人が嬉しくて幸せですか？そして、私たちは道の終わりまで来ています。そして、神が私たちのすべての罪と私たちの欠点を許してくださるように祈ってください。

さて、始める前にこれを言いたいと思います。私はあなた方一人一人に、私にあなたに望むことができる最も成功し、祝福され、健康的な新年であることを願っています。神はあなたと共におられます！肉体的にも霊的にも経済的にも物質的にも成長させてくださいますように。神があなたにもたらすことができるすべてのもの、私は彼がそれをしてくださるようにと祈ります。

8 今、私は新年に直面しています、私自身、神だけが未来に何が起こるかをご存知なのです。そして、私たちの決意はすぐに行われなければなりません。私たちはすべてのものを手に入れました。ジム兄弟は、そこにおいて、国際的に、世界中からの招待や物事のために、準備ができています。主が私たちを導くところを見るために。そして、私は確かにあなたがたの祈りを求め、神が私を惑わされないように心から祈っていただきたいのです。私—私は…私になりたいことは何でも、誠実で、決して惑わされないことなのです。そして今、私は良い年を過ごしました。

9 多くの場合、人々は誤解しています。そして、彼らは「ブラナム兄弟、あなたは…あなたは…あなたはかつてのような場所に行ったり、これらの他のミニスター達がそうであるように行ったりすることなく、すべてを持っている…」と言います。私が聖書と私たちの主からレッスンを学ぶこと、イエスは芸人ではないことを学びました。彼—彼にはそれが欠けていました、彼には芸能はありませんでした。ほら、彼は全くみせびらかす芸人のような物ではありませんでした。そして、私は彼の弟子が芸人たちのような物であるとは信じていません。彼らが芸人や芸能人のような見世物になることは決してありませんでした。

今日はボートに乗り遅れていると思います(多分それは私自身の考えです)。すべてについて大きな打撃を加えなければならぬとき、あなたは理由を知っています、それは神聖さよりもまるでショーのように見えると思うのです。

10 本当に主を受け入れた方々、主の御来臨のなかでの事に気が付いていますか？シメオンでした、誰も彼について何も聞いたことはありませんでしたが、彼は主を探していました。神殿にいた目の見えないアンナ。荒野の洗礼者ヨハネ。そしてそれら…

ヨハネは9歳で荒野に行き、30歳になるまで二度と現れませんでした。荒野にいたのでした。そして、こっそりと信じて謙虚にしていたそのような人たちは、主の来臨を探していました。そして、彼らは彼らの集会を爆破したことはなく、それを素晴らしい印(「その時代!その時間!」)と、そしてテレビ放送などのすべての者は在りませんでした。それをそのようにしたい人はそれで大丈夫ですが、私には、それはキリストのように見えません。

11 彼の兄弟が彼に一度言った事を私は知っています、「あなたはこれらの奇跡と事をします、あなたはここエルサレムに行かないのですか？そして、私たちは過ぎ越しの祭りの宴に行き、大祭司カヤパとそのすべての人々を呼び、彼らに知らせましょう。彼らがあなたの業を見るかもしれないから、彼らの前でその業をしてくだ

さい。そして、さて、あなたはたくさんの漁師などと一緒に川を下って、その低層階級の人々とばかばかしく過ごしているのですか？何…どうしてここに来て、世に見てもらわないのですか？」分かりますか？

イエスは言われました、「あなたはいつも時がありますが、私の時はまだ来ていません。」ええと。分かりますか？

12 ヨハネが一度いました…バプテスマのヨハネ、聖書は彼が来る事を語っていました。そして、「彼が来る時、それは…」と言いました何故イザヤが、彼が生まれる約700年前に「主の道をまっすぐにせよと荒野で呼ばれる者の声がある」と言いました。そして、「すべての山が小さな子羊のようにスキップし、すべての葉が手をたたき、高い場所を低くされ、低い場所が高くされました。」

そのような予言がこれなのです！その時代のミニスター達の事をどう思いますか…彼らがそれを拾ったとき、彼らは言ったに違いありません。「凄い！その偉大な預言者が来るとき、誰もが彼を知るでしょう。神は空の天蓋を広げ、天の廊下は下がり、火の戦車が下に降りて来て、天使の一団が彼を地上に護衛してくるのです。」

彼が来るとき、彼は羊の皮をベルトに革を巻いて彼の周りに巻いた、ぼんやりとした説教者でした。おそらくお風呂に入らなかったでしょう。3~4か月ごとしか。荒野の外に出て、出て行って、泥の中に立ち、膝を深くし、宣べ伝えていました。「悔い改めよ、天の国は近づいている！」彼は町には行ったことが全くありませんでした。もし誰かが彼の言うことを聞いたかったならば、彼らはヨルダンにやって来てでも彼らは、彼の言うことを聞きたいのです。彼は何をしましたか？彼は国を揺り動かし、彼は世界を揺り動かしました。

13 何も知らないことにかんして人々の中に揺れが起こっています。イエスが来られたとき、彼は決して大きな高みの中にご自身を表されなかったのです。彼は彼自身の者の所に来られました、彼は彼を探していた人々の所に来られます。揺れが来るところです。それが彼が今日行っておられることです。聖霊は神が召された人々に来ます。選民の間には大きな揺れがあります。偉大で強力なことが起こっていますが、世はそれについて何も知りません。

彼らは、この大きな花々のようなもの、世界中の放送、テレビ、そして何百万ドルもの建物、そしてすべてが、それがうまくいっていると考えています。それは神の目には愚かなものなのです。神は大きなものをご覧になりません。人が「愚か」と呼ぶものを、神は「偉大なるもの」と呼ばれます。そして、人が「素晴らしい」と呼ぶもの、神は「愚かなもの」と呼ばれます。「失われた人々を救うことは、説教の愚かさを通して主を喜ばせました。」

14 さて、ヨハネ。彼らは何と言うと思いますか？「古き良き狂信者がいて、ぼんやりとした顔の奴は、羊の皮を巻いて荒野から出てきたのです。そして、だから、彼は泥の中に裸足で立って、ヨルダン川側にいて、そこから続いていたのです。誰がそのようなことを聞いたことがあったでしょうか？」

イエス様が来られるとき。「馬小屋で生まれてわらの上におかれ、そこでは牛たちが頭を下げて小さくなっているようなところにいる救世主？そして、そしてあなたは母親と…私生児、彼の父親として…母親は彼らが結婚する前にすでに妊娠していました、なぜなら、彼は聖なる婚姻から生まれたから。その人？」ああ、何と素晴らしい！分かりますか？しかし、それは偉大なるものだった、ただ彼らはそれを知らなかった。分かりますか？彼らはそれを知りませんでした。

そして今日の福音も「偉大なるもの」なのです。そして、福音はこれまでに揺らしたことの無いほどに揺らしていますが、それは半端者の中を揺らしているのです。そうです、彼らを固定される準備をしているのです。

15 「彼は自分のところにきたのに、自分の民は彼を受け入れなかった。」イエスは弟子たちに言われました、「異邦人の道に行くな。むしろ、イスラエルの家の失われた羊のところに行け。そして、あなたが行くにあたり、あなたを受け入れるもの私を受け入れているのである。だれもあなたがたを迎えるものがいなかったら、その町を出て行くとき、彼らに対する抗議のしるしに、足からちりを払い落しなさいそして立ち去るのです。あなたがたによく言うておく。さばきの日には、ソドム、ゴモラの地の方が、その町よりは耐えやすいであろう。」そして、それらの男性を拒否したそれらの町のすべてが今日、灰の中に横たわっているのです。彼らを受け入れたすべての人びとはいまもあついままで立っているのです。そうなんです、ほら。答えるのに長い時間がかかっています。しかし神は答えられます、心配しないでください。私はそのようなことを始めることはないでしょう、私は黙示録に決して入りません。ああ！

ああ、私は彼に会いたい、彼の顔を見たい、

彼の救いの恵みを永遠に歌うこと。  
栄光の路上で声を上げさせてください。  
全ての生活の心配事がおわる時、終に家に帰り、永遠の喜びはいるのです。

16 私はそれが好きです。ちよつとの間頭を下げてみましょう。それをする前に立ってみませんか？私—私が思うに…聖書は、「あなたが立って祈る時、許される」と言いました。挙げられている手によってしらせたい祈りのリクエストを持っている人は何人いますか？覚えておいてください、神はそれを見ておられ、彼はそれについてすべてを知っています。

17 私たちの天の父、私たちは主イエスの御名によってあなたの神性の聖さに近づいています、ここで人間に与えられたすべてにおいて十分な名前、天と地の家族でさえすべて「イエス」と名付けられているのです。

そして、私たちは主よ、あなたが私たちの感謝を受け入れて下さるようにと祈ります。まず、初めに、この瀕死の年…私たちが今夜の礼拝の中でそれを発行しているとき、それを称賛し、あなたの言葉を研究し、主がどういう意味かを知ってそれを発行します。いくつの物事を感謝していることを書きつけられますか！今年私たちが経験した、小さくて狭い逃避行。サタンは私たちの生活を窒息させたでしょうが、あなたはまだ私たちを終わらせておられません。だから、私たちはまだ続けているのです。主よ、私たちはあなたを敬い栄光を与えるためだけにこの世で生まれ育つたと信じています。

そして、私たちは祈ります、父よ、あなたは私たちが旅に沿って下したすべての咎とすべての間違いを許してください。私たちがそれらを告白するとき、私たちの過ちを今夜忘れさせてください。それらを二度と掘り起こさないように、彼らを忘却の海に、主イエスの御名によって葬ります。しかし、今、この完璧な方である、キリスト・イエスのために、この印に向かって進もうではありませんか。父よ、今夜それを認めてください。

18 あなたのしもべが話すので、彼ら一人一人に、あなたの命の霊を注ぎ、今までにない方法で説教し、今夜教会にメッセージを届けてくださいますように。

そして、私たちはこの小さな屋根の下にここに集まりました、私たちはそれを感謝しています、主よ。暖かい火がそばに居られることを感謝しています、頭の上の屋根に、それだけなのです。

私たちの宝はこの世界にはありません、来るべき世界にあるのです。神よ、私たちはそこに横たわっています。私たちの宝物は永遠の命だからです。泥棒が侵入したり強盗したりすることはできません。そして、父よ、あなたが私たちの人生のすべての日々を大切にさせてくれるようにと祈ります。

私たちがしもべとしてふさわしくなるようにしてくださいますように。主よ、過去からのわれわれのうちにある悪をすべて取り除いてくださるようにと祈ります。それを脇において…悪意の根とすべての苦味が私たちの命から取り去られますように。私たちはあなたの前にへりくだり優しくなれますように。主よ、それを認めてください。この来るべき年が、今までで最高のものとなりますように。認めて下さいますように。今夜、私たちがあなたのメッセージをさらに待つので、あなたの御言葉を与えてください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。どうぞおかけください。

19 さて、そのあたりにある時計を見るのはわたしにはある意味難しいです、そして兄弟を待たせたくないの、できるだけ早く急いでこの部分を取り出せるようにします。そして、多分、もし私たちが終わらないなら、明日の朝、御心ならば、多分続けることが出来るでしょう。そして、ネヴィル兄弟が降りてこない場合、または何であろうとも、御心ならば、日曜学校の礼拝を続けるためにここに来ようとするつもりです。

20 さて、今忘れないでください：  
祈る、祈る、だけが唯一の方法  
…より高い場所に到達するために。  
信仰の祈りを、祈り、祈るのです。  
それが神の祝福をもたらすでしょう。

それがあなたがこれを行う唯一の方法なのです。一緒に歌いましょう。今、新しい年になりました。時間はたっぷりあります。

祈りましょう、唯一の方法で祈りましょう  
より高い地に到達するために；  
信仰の祈りを、祈り祈るのです。  
それが神の祝福をもたらすでしょう。

ですから、信仰の祈りが神の祝福を齎すならば、祈り続けましょう。今夜、うれしいことに、私たちは昨年になかった神の御国に新しい顔を得ました。そして、私はただ、ますます多くが加えられることを祈り続けています。そして、半分はまだそれが反対側に何かあるかについてまだ知らされていません。

21 さて、黙示録の第4章を開けて行きます。誰か聖書が必要な方は？あなたが私たちをフォローしたいなら、ここにいくつかの聖書があります。分かりました、案内人の一人が今出て来て、私たちはここに聖書全体を持っています。トラスティー、案内人か何かの一人がここにすぐ来ます。ザベル兄弟；もう1人も来てください。両側を取りたい場合は、通路を下ります。私達と一緒にフォローするために聖書が欲し人は誰でも、降りてきてください、そしてそれを得て、誰かそれを欲しがる人に渡してください。

そして、私たちはあなたに今黙示録、第4章をひらいて欲しいのです。

22 そして、今、あなたが後ろに座ってここに進みたいと思っているなら、私たちは今夜あなたが上に移動するための十分な余裕を持っています。そして、自分自身を快適にして、学びにすぐ入り込み、私がそれを読んで、私たちが共に集まるにあたり学ぶのを手伝ってください。ここに席があります。カップルが来るのが見えます。そして、ここに2つの席があります。ここにあるのは、その1つだけです。そしてここに戻って、ここには席があります。私は送風機は普遍的なものだと思います。

そして今、私たちが今持っているレッスン、7つの教会時代の8日間のレッスンを楽しんだ人はどれくらいいますか？感謝します。私は気持ち良くなります。なぜなら、私はそれらから本当に素晴らしい祝福を受けたからです。

23 さて、今夜は第4章で、私たちは今やめます、ヨハネはラオデキア教会時代に話していました。そして、このラオデキア教会時代では、他のすべての教会時代にもまして最もめっちゃくちゃになった教会時代でした。

そして、私たちはラオデキア教会時代の最後の部分で最も悲惨なことを見つけました、イエスは彼が出されていた彼自身の教会の外に立って、ドアをノックして、戻ろうとしました。それは罪深くないですか？それは私が今まで読んだ中で最も哀れな聖句の1つだと思います。イエスは彼自身のドアの外で、そして彼の教会は彼を外に出しました、そして彼は彼らを救うためだけに戻ろうとしておられました。「誰でも扉を開くものは、私を自分の家に戻させてください。私は彼と一緒に、彼は私と一緒に食事をします。」それは…哀れではありませんか？天の神は、彼らの信条と宗派、そして彼らのやり方によって、彼自身の教会から追い出されたのでした。それらを追い出して…教会から彼を追い出して、彼らの信条を受け入れていました。

24 イエス様ご自身が十字架にかけられた時代とまさに同じ事なのです。そして、それは彼らが殺人者バラバを受け入れ、イエスを十字架につけたときでした。彼らの中で殺人者を自由にしたのです、それは「殺人者」であることが証明されて受け入れられました…そして彼らに命を与えることができる唯一の人であるイエス・キリストを断りました。

そして、それはすべての宗派、そしてペンテコステ派の宗派が今日持っているものと同じです。彼らは、それらの宗派が宗派すると同じくらい早く死ぬのを見ています。歴史の中で、何か宗派教団になったものでひとつでもすぐに死んでいなかったものを見たことはありません。すべての印、奇跡、そして賜物は、彼らが宗派教団になり始めるやいなや離れすべての他の者も同じなのです。そして、彼らに命を与えるために主イエスを受け入れるのではなく、彼らはまっすぐ戻ってバラバを再び彼らの間で自由に始めたのでした。それはひどいことではありませんか？神が彼の教会からすぐに出され、立ち直り、最後の教会時代の扉をノックして、戻ろうとしてくださろうとしたのも不思議ではありません。

25 今、私たちは黙示録が3つの部分でブロックされていることを発見しました。最初は最初の3つの章で、教会、メッセージ、御使い…教会への御使いに関係しています。そして…そして、彼女は第3章ですぐに消え、第19章、彼女が戻った第19章まで再び現れません。この間、神はユダヤ人たちと対処しておられるのです。そして、それ以来、それはエルサレムと言う偉大なる町の到来と、終わりの時のイスラエルの人々の封印などの間にあります。

26 さて、今夜は出発します…この直後、ヨハネが見たのは…パトモス島で…パトモスが海岸からどれだけ離れていたか覚えている人は何人くらいいますか？それはどれくらいの距離がありましたか？海岸から約30マイルです。そうです。そして、パトモスの周りの距離はどのくらいでしたか？地理的なことを覚えていますか？その周囲距離は約15マイル。そして、それはローマ人のための亡命のために使用され、そこに囚人を置きました。そしてヨハネは何のためにそこにいましたか？彼は何をしたのでしたか？彼は何かを盗みましたか？いいえ。彼は…彼らは彼を人々の邪魔をしていて…あるいは何か悪をしていたので彼をそこに追い出し

たのでしたか?いいえ。彼は何のためにそこにいたのですか?神のことばとそのあかし、福音の説教。

27 そして、最善を尽くさなければ、クリスチャンに何かが起こり得ますか?いいえ、いいえ、いいえ。さて、何が神が彼を島に一人で行くようにそこに連れて行ったのですか?この黙示録をを私たちに下さるため。ほら、神はいつでも彼がしたいときに羊毛を悪魔の目の上に引っ張ることができます。彼に出来ないことがありますか?彼はただそうすることが可能なのです。私はただ主を愛しています。なぜなら、私は頭が良い必要はありません、ね。さて、もし私が頭が良ければ、誰も彼ほど頭が良い方はいないことがわかっているので、私はそれについてすべてを忘れようとしています。そして私は一私はただ…私が何を得たとしても、私は彼に身を任せ、彼の言われることをただをします。それだけです。時々それは私が思う方法に非常に反しています。しかし、私は知っています、もし主がそれを導いておられるなら、彼は賢い方なのです。彼は彼が何をしているかをご存知で、私は知りません。だから私は彼にそれをさせます、分かりますよね、それはただ…それは良いのです。分かりますか?だから私は彼にそれをしてもらいます。ネヴィル兄弟、それだけです。はい、そうです、ただ彼にしてもらってください。分かりますか?彼だけがなさいていることをご存知で、私は知らないのですから。分かりますか?ですから、大きな花や物を作ろうとはしません。そして、へりくだり、「父よ、いつでもあなたが私をお望みの時にここにおります」と言います。だからただそのように進んでください、そしてそれは常に正しく出て来るのです。

28 だから、ヨハネ、もしヨハネがその島にだされなければ、ヨハネでなければ黙示録の書を私達が持つことはなかったのです。それが神が我々に黙示録の書を与える方法だったのです。彼はそこに3年ほどいたと思います、そして書として…黙示録を書いたのです。

さて、私たちが招待の最後である、第3章の22節で彼を去るとき、「耳のある者は、御霊が教会に言ったことを聞くがよい。」

29 さて、第4章を始めましょう:

その後、わたしが見ていると、見よ、開いた門が天にあった。そして、さきにラツパのような声でわたしに呼びかけるのを聞いた初めの声が、「ここに上ってきなさい。そうしたら、これから後に起るべきことを、見せてあげよう」と言った。

一節ずつ取り上げていきます。そして、私はたくさんの聖句をここに書いてあります、それらの書、そしてどれほど入って行けるかは私は分かりません。主が私たちを導いてくださいますように。さて、見て行きましょう、御言葉は:

これらの事の後で(教会時代の後)…

そして、このすべては、さて、関係し、教会の携挙の後で地上で起こることなのです。携挙の後です、見て下さいね。これがイスラエルを取り戻すために今戻ってきているのです。教会時代の後、教会の時代の後、彼らは…教会は彼女が花婿とともに帰る黙示録の19章のまで再び現れることはありません。子羊の婚宴のために神を賛美しましょう!

30 それを読んでみましょう。これらの聖句を読み進んでいく形で読みたいですか?よし黙示録19章を開きましょう。良いですね。黙示録19章。黙示録19章の7節から始めましょう。これは教会が再び現れるときであり、19章で終わるまで二度と現れることはありません。

わたしたちは喜び楽しみ、神をあがめまつろう。小羊の婚姻の時がきて、花嫁はその用意をしたからである。

ああ、私は真夜中までそれについて説教することができて、半分もそれを告げることが出来ないでしょう。ほら「花嫁はその用意をしたからである」

31 チャーリー、ネリーそして皆さん、我々がそこで話していたことそしてロドニー先日の事でした。分かりますか?エリシャがその衣服をエリヤに投げたとき…あるいはエリヤがそれをエリシャに置いた。彼は手を伸ばして再びそれを脱ぎ、自分でそれを身に着けて、ヨルダン川を渡って山に行き、馬車に乗ってそれから降りるまで彼の上を歩きました。

クリスチャンが最初に救われたとき、彼の顔はキリストの方を向いていて、それから彼は自分自身がすべきことがあるのです。彼は次に、すべての汚れた習慣から身を清めなければなりません。「すべての重荷を脇に置き、彼女自身のために整える。花嫁は彼女自身を準備しました!」

32 ちょっとした話を思い出します。先に進む前にそれを言わなければなりません。ここ西側には、昔、何年も前に、この素晴らしい鎧とスウィフトパッキング会社がありました。彼らがどうやっているのか、彼らはそこにやって来て、牛を購入し、牧場を購入したのです。そして、彼らは多くのお金の価値があり、すべての小さな牧場を買い取り、そのような何百万エーカーの牧場を持っています、これらの大きくて素晴らしいヘレフォード牛をセクションでビジネスを実施していました。彼ら自身…自分の鉄道と、牧草地から牧場に牛を運ぶものを所有しています。

そして、鎧とスウィフトには大きな牧場を持っていて、そしてある日彼らにはそこに監督がいた、監督、それは牧場で、彼には約4~5人の娘がいました。そして、彼らは鎧の大きな兄弟の一人が…または兄弟ではなく息子が牧場を訪問するつもりであることがわかりました。そして彼は、若くて独身でした。そして、これらのすべての少女たちは、彼が来るとすぐに、彼らがこの男の子を惑わすつもりだと確信していました。そして、彼女たちは皆準備を整え、すべての準備をしていました。

33 彼がそこに着いたとき、彼らは彼に会い、その昔のフロンティア時代のスタイルのドレスを着て、小さなドレスを着て、それらにフリンジを付け、各腰に.44をつけ、頭の後ろに帽子をかぶっていました。わかりますよね。そして、彼女たちは一般的な西部の人達となるでしょう、そして女の子のそれぞれが…を得るつもりでした…彼女たちの一人がこの青年を手に入れるつもりでした。

そして、彼らには、彼女の母親が死んでいて、彼女の父親が死んでいた小さいとこがいました。彼女はいとこであり、彼女はそこにいたすべての奴隷のようでした。そして、すべての汚い仕事を彼女がしなければならなかった、皿やすべての物を洗っていました。そして、彼女は服を持っていませんでした、彼女は渡されるすべてを取らなければならませんでした、そして…

34 それで、その青年が到着する時が来たとき、彼らは皆、彼らのバックボードに入り、そして駅から降りて、彼を歓迎するために行きました。そして、彼らは銃を撃ち、馬がぐずぐずしていました、そしてすべて。そして彼らは彼を牧場に連れて行きました。そしてその夜、彼らは大きな大騒ぎの宴会をしていました。そして、彼らは干し草の山と囲い柵の上に出て、彼らは歌い、踊り、そして一晩中踊りました。彼は2日か3日間そこにいました。

35 この小さいとこ…さて、これを何かに例えてみましょう。私たちのいとこはすべてドレスアップしていて、大きな尖塔のある素晴らしい教会があり、ペンテコステ派に汚い名前を付ける必要があるように見えますが、何かの間違ってしています。彼らも間違っていることをしていますが、聞いたことはありません。わかりますよね。彼らは一種の古典なので、あなたはそれについて聞いていません。しかし、ペンテコステ派のある牧師が一度間違いを犯すようにさせます、そして、兄弟、私があなたに話しているように、彼らは全国のすべての新聞に彼女を詰め込むでしょう。はい、そうです。ペンテコステ派の兄弟が子供のために祈るようにしましょう、そしてそれは死にます、国のすべての新聞はそれを記事にして、「神の癒しは狂信です」とするでしょう。

さて、それではなぜ医者が失うすべての事件は新聞に書かれないのですか？「ガチョウのためのソース、それは雄のガチョウのためのソースです。」わかりますか？ですから、彼らがそれをするなら、彼らはすべての死者を書くために新聞の列に十分なスペースを持っていないのです。私がこの墓地に行くと「神の治癒の下で死んだ人は誰でも立ち上がって」と言い、次に「治療のもとで死んだ人は立ち上がって」と言うと、彼らの数は百万人対一人で上回るのです。そして、それはまさにその通りです。ですから、もし彼らが一方を批判するなら、もう一方も批判するでしょう。そうなのです。しかし、彼らは医薬品と手術で年間数百万人を殺しており、あなたはそれについての言葉を聞くことはありません。わかりますか？

36 だから、この小さな女の子、彼女はすべてのきつい仕事をしていました。だから、一度にすべてが、その青年が…夕食が終わって彼らが踊ったある夜、そしてこれらの少女の一人一人がすべてを着飾っていた時のことです、あなたは知っています。そして、このかわいそうな女の子は、小さな、古くてボロボロのドレスを着ていなければならませんでした。そして、ある晩、夕食が終わった後、彼女はその汚れたホールに座っていました、そして、彼女は皿を洗い、そして彼女は裏庭を走って食器水を捨てていました。彼女は…彼女が囲い柵で振り向いたとき、彼がそこに立ち、囲い柵に寄りかかっていた。彼は「こんにちは」と言いました。

牧場主の息子である監督の少年だったので、彼女はとても恥ずかしかったのです。彼女は皿洗い桶を下に持っていましたそして、彼は彼女がとてもボロボロである事に気づかなかったでしょう。このように、彼女の素足で振り返って、振り返り始めました。

そして彼は彼女に近づき、「僕の事を怖がらなくていいよ」と言いました。「私はあなたに何かを伝えたい

のです。」と言いました。彼は言いました、「私はある目的のためにここに出てきます、私は妻を見つけるためにここに出掛けてきました。」そして、「私はいたるところで探していました。」「私は町に戻って女の子と結婚したくありませんでした、私は本当の妻であると思ったものを得たいです。」と言いました。そして、「私が見たすべての中で、ここではあなたの事に気づいてきました。そして、私はあなたがいとこであることをいくつかの手で見つけました。」

「そうです」と言いました。

言いました、「尋ねたいことがあるのです。結婚してくれませんか？」さて、彼女は何をすべきか知りませんでした。彼女はとても困惑しました、彼女は一彼女はその男に答える方法を知りませんでした。

37 ああ、私はただ彼女がどのように感じたか想像しています。ね？罪人であった私が、何の役にも立たない、酔っぱらいの子供だった時、イエス・キリストが、「私は私の者達のためにあなたが欲しい」と言われました。彼はどうして私のような人のところに来ることができたのでしょうか？「私はあなたに天国の家をあげます」どのように言うことができたのでしょうか？彼はどのように「私はあなたを救う」と言うことが出来たのでしょうか？私のような恥多い者に、どのようにそのようなことが出来たのでしょうか？しかし、彼はなされたのです！

38 彼女は言いました、「でも、一私は、私は一私はふさわしくない。私はあなたのような方の妻になることは出来そうもありません」と言いました、「なぜならばあなたは素晴らしいことに慣れているからです。そして、私はそれらについて何も知りません、私は貧しいです。」

彼は言いました、「しかし、あなたが私がえらんだものなのです。」

そして、イエスがあなたに言われたとしたら、それは素晴らしきことではありませんでしたか…？あなたはクリスチャンになるにはふさわしくないことを知っていました。あなた、あなたができることは何もありませんでしたが、彼は…それは何でもない…彼一彼はただあなたを選ばれたのでした。わかりますか？彼は…彼があなたを選ばれたのは、彼の良さ、憐れみによるものなのです。あなたが彼を選んだのではありませんでした、彼があなたを選びました。そうです。

彼女は言いました、「私は一私は…」彼女は言った…

「あなたの服を見ないでください。私はあなたの服を見ないで、あなたが何であるかを見るのです。」彼は言いました、「私と結婚してくれますか？」そしてついに合意がなされました。そして彼は言いました、「一年後のこの日に、戻ってきます。準備されていることでしょう。結婚式の服を着てください、私は戻ってこれらの条件のもとにここであなたと結婚します。そして、私はあなたをシカゴ、アウトードライブに連れて行きます。そこにはあなたが住むことになる城があります。そして、このすべての皿洗いなどの仕事の全てが終るので、。」

39 姉妹またはいとこがそれについて聞いたとき、彼らは言いました、「あなたは貧しくて小さくて無知な愚か者！つまり、そんなの彼は本気じゃないことが分かるはずなのに！」

そして、それはまさに彼らが今日言っていることと同じではありませんか？「彼ら自身の名前さえ書くことが出来ないようなホーリーローラや人々の集まりがどのようにして彼らは教会になることが出来るのでしょうか？そのようなグループはどのようになりえるのでしょうか？」しかし、それで十分です。私たちが婚約し、私たちの罪を取り除くために私たちの心にイエス・キリストの婚約のキスを感じたとき、何かが私たちに、彼が世界と同じように確かに再び戻ってくると告げています。いつの日か彼は戻って来られるのです。

40 通年、彼女は働き、ここでわずか75セントを節約しました。彼らが彼女に1日の賃金としてここで与えるものです。そして、彼女はすべてを準備するために彼女のウェディングドレスを買うために彼女のお金を貯めていました。ああ、それは彼女の考えのすべてでした。準備をする事。(そして彼は…「彼女は準備を整えました。」)彼女は彼女のいとこが彼女を笑い、彼女をからかっている間、彼女の服、彼女の結婚式の服を手に入れました。

ついに…ついにその日がやってきました。彼女は自分の結婚式の衣服に身を包み(ああ!)、すべての準備をして、きれいにしていました。そして、彼女の小さいいとこがやって来て、彼女に頭を下げて言った、「まあ、馬鹿で愚かな人。だって、彼は本気じゃなかったってわかってるでしょ。彼は…あなたのような女の子と結婚しようなんていうわけがない。」しかし、彼女はとにかく準備をしました。

41 だから、夜遅くにやって来て、彼らは彼女をからかい、馬鹿にし始めていました。とにかく、彼女はドアのすぐそばに立って待っていました。そして彼女は…彼が「彼は何時にここにいると言ったのですか?」と言いました。

「彼は言わなかった」と言いました。しかし、彼女は言いました。「彼女は夜に彼が結婚するだろうと私に話しました…または彼は私に婚約指輪をくれました。彼は私に言った、「それは今から約1年になるだろう」。そのため、あと1時間残っています。」アメン、ただ待っていました。「残り1時間、残り30分、残り10分でした。」そして、彼らは笑って彼女をからかい、彼女をいろいろな名前で呼びました。

しかし、ついに、その決定的な時間に、彼らは砂が車輪の下を転がるのを聞き、馬がやって来ました。彼女が準備を整えた小さな花嫁がドアから飛び出し、そこにあるバラで覆われた垣を通して飛び回り、彼女が愛した男の腕の中に飛び込み、彼女の夫になることは、何ということでしょうか。そのように彼女を迎えに行き、結婚してそれに乗って離れていくのです。

42 近いうちのいつか、兄弟、からかって「ホーリーローラー」、そして「ペンテコステ派」と言っている人々、そしてそのようなこと…私たちは待っています、まだ少し時間があります。彼らは「ああ、今までと何の違いもない」と言います。心配しないで、もう少し時間があります。そして彼が約束したその瞬間に、彼はここにおられるようになるでしょう。そしていつか近いうちに、飛んでいきそしていなくなるでしょう。ただ準備してください! 礼服を着続けてください! 残酷なことはすべて心から遠ざけてください。すべて…

43 この聖句をここでどのように読むかを聞いてください:

わたしたちは喜び楽しみ、神をあがめまつろう。小羊の婚姻の時がきて、花嫁はその用意をしたからである。(分かりますか?)

彼女は、光り輝く、汚れのない麻布の衣を着ることを許された。この麻布の衣は、聖徒たちの正しい行いである。(神を褒め称えよ!)

9 それから、御使はわたしに言った、「書きしるせ。小羊の婚宴に招かれた者は、さいわいである」。またわたしに言った、「これらは、神の真実の言葉である」。

つまりは、いつの日か近いうちに空中で主に会うと時が、その優しい時が来るのです。ええと。ただ準備してください! ご自身の準備を整え続けて下さい! すべての邪悪な思考からあなたの心を一掃してください。どんなに暗くても、どれだけ多くの人が笑い、からかい、「お前は間違っている」と言っても、神を信じてください。神聖に生き、神のために生きることを正しく続けて下さい。その時が来るまで動き続けていだけなのです!

44 ですから、ご存知のように、彼女は今、黙示録19章に再び現れます。

これらの事の後…(彼が教会時代を見た後)

その後、わたしが見ていると、見よ、開いた門が天にあった。

さて、覚えておいてください、ヨハネはまだパトモス島にいます。そして彼がすべての教会の時代が通り越したのを見た後:

わたしが見ていると、見よ、開いた扉が天にあった。

「扉。」扉とは何ですか? 黙示録3:8。黙示録の第3章の第8節で、「私はあなたの業を知っている見よ、わたしは、あなたの前に、だれも閉じることのできない扉を開いておいた」彼がその扉です! 扉! キリストは扉(門)です。彼はヨハネによる福音書の10章で、「私は羊飼いの扉(門)である」と言っています。

そして、田舎で、あなたは羊飼いが彼の羊で走っているのを見つけるのです。彼はそれらを数え、それらがすべて入っているのを見た後、扉(門)のすぐ横に横たわっていました。オオカミは彼の目を覚ますことなしに入ることができません、または彼の羊は彼に来るまで外に出ることができません。ああ、羊飼いが扉(門)の所で横になっているから、羊がどれほど安全に感じるでしょうか。

ノアは旧約聖書の中で、箱舟の扉の中に立っていました。ああ、聞いてください。何かを言おうとしています! 彼は扉の所に立って、彼を笑った人々に悔い改めと義を説きました。そして、彼が立っていたのと同じ扉では、その1つの扉を除いて誰も箱舟に入ることができませんでした。箱舟の扉は1つだけでした。

45 方法は1つだけです。大丈夫、…兄弟?…キリストの体に入るには一つの方法しかないのです。生きる神の教会への扉は一つしかありません、そしてイエスがその扉なのです!「私は扉(門)である!私は道、その扉(門)に通じる道なのです。私は羊飼いの扉(門)です。」

彼はこの教会時代に、「私はあなたの前に開かれた扉を開いた」と言いました。彼はメソジスト教会時代にいました、彼らはそれに背を向け拒絶し、組織に入ったのです。「しかし、私はあなたの前に開いた扉(門)をおいた。」さて、彼らが聖化を受けた後、彼は聖霊である「開かれた扉を置く」と言われました。「一つの霊によって私たちはすべてです」(どうやって?)「キリストである一つの体にバプテスマを受けました。」彼はそのメッセージをメソジスト教会の前に置き、彼らはそれを退けました。彼らは聖化に至り、そして聖霊を拒否しました。覚えていますか?それが「開かれた扉」です。

どのようにしてキリストに入るのですか?一つの霊によって、キリストの霊である聖霊。私たちは握手や滴礼ではなく、聖霊のバプテスマによって入ったのです。私たちは皆、一つのからだにバプテスマを受けて、そのからだの一部となったのです。その扉に入る唯一聖霊によるバプテスマ。

46 この扉(門)は天国にあり、その扉(門)は彼が見上げると主イエスを見た。次の部分をご覧ください。その扉(門)、主イエス。

わたしが見ていると、見よ、開いた門が天にあった。そして、さきにラッパのような声でわたしに呼びかけるのを聞いた初めの声が、

今、その現場は変わっています。ヨハネはパトモスを見ていました、そして今、彼は顔を上げています。なんで?彼は何かがこの(これらの教会時代)で地球上で起こったのを、すべての七つの教会時代を見て、そして彼が教会時代を見ることを終えた後、その後、教会時代が終わった後、彼は声を聞いた。そして、彼は天に向かって見上げると、開いた扉(門)を見ると、最初の声はラッパの音のように聞こえました。よし、シーンはパトモスから天国に変わりました。

47 その声は七つの金色の燭台を歩いたのと同じ声でした。同じ声、声は変わりませんでした。しかし、声、彼が初めてそれを聞いたとき、それはどこにありましたか?最初の教会時代でのことを何人が覚えていますか?彼の後ろ。「私は主の日に御霊に感じた」黙示録1章1:10。だから彼は…「御霊の内にいたのです」黙示録1:10と15でそれを書き留めたい場合、「ところが、わたしは、主の日に御霊に感じた。そして、わたしのうしろの方で、ラッパのような大きな声をするのを聞いた。声は大水のとどろきのものであった。わたしに呼びかけたその声を見ようとしてふりむいた。ふりむくと、七つの金の燭台が目についた。それらの燭台の間に、足までたれた上着を着、胸に金の帯をしめている人の子のような者がいた。」

さて、彼は彼にその7つの金の燭台の全ての奥義(7つの星と白いかつらを持ち、真鍮のような足と火のような目、象徴を保持している)を見せた後、彼は同じ声を聞いた(見てください)天国からの声であった。そして、彼は見上げた時に、ひらかれた扉(門)を見ました。ああ!天国への開かれた扉!どうやって入るのですか?キリスト・イエスによって、その一つの扉、一つの道、他には道はありません。

48 「よくよくあなたがたに言うておく。羊の囲いにはいるのに、門からでなく、ほかの所からのりこえて来る者は、盗人であり、強盗である。」そして、登って、礼服を着ないで子羊の婚宴にいた人のたとえで、有罪となり、縛られて外の暗闇に投げ出されました。子羊の婚宴に来るには一つの道以外にないのです。私はここで少し前にそれについて説教したと信じています。花婿がいつでも…ある男性が…その古の国で結婚したとき、彼は自分で招待状を出さなければなりません、彼はその礼服を自分で提供しなければなりません。そこで彼がそこでこの人に会ったとき、彼は夕食のテーブルに座っていました…そのたとえ話を何人が覚えていますか。確かに、あなたはその聖書を読んでいますね。そして彼は礼服を着ていない男を夕食の席で見つけました。

49 それは何でしたか?花婿はその扉に立っており、すべてが招待状をもって来ていました。「誰も、私によらないでは父の御許に行くことは出来ない。父が私に与えた、または招待されたすべての人は私に来るであろう。」ここに来て、招待状を花婿に与えるので、誰もが同じように見えます。それは、古き良き聖霊の信仰についての1つのことであり、彼らを皆同じように見せるようになるのです。彼らが金持ちであれ貧乏人であれ、奴隷であれ、自由人であれ、黒人であれ白人であれ、男性であれ女性であれ、彼らはすべてキリスト・イエスの内にいます。そして、花婿はドアに立って招待状を受け取り、その礼服をこの人の周りに置いたので、金持ちも貧しいものも皆同じように見えました。それが神の御国のあり方であり、偉大なる者も小さき者もいません。彼らは皆、一人の人であり、すべてがキリストの内にいるのです。

50 さて、花婿が戻ってきて婚円の礼服を着ていない男性を見つけたとき、あなたは、どう思いますか？言われました「友よ、どうやってここにはいったのですか？」そして彼は言葉を発さずに立っていました、それは彼が扉以外の何らかの方法で来ていたことを示していました。彼は窓の中から入ったか、彼は裏口からはいってきました。そして彼は彼を友達と呼び、彼が教会のメンバーであることを示しました、「友よ、あなたはどのように礼服なしでここに来たのか？」さて、イエスはご自身でこれを言われました。そこで、王はそばの者たちに言った、「この者の手足をしばって、外の暗やみにほうり出せ。」外の暗やみにほうり出され。そこで泣き叫んだり、歯がみをしたりするであろう。それがキリストご自身の御言葉です(そうなのです)「彼は追い出されました。」なぜなら、結婚式の礼服なしで、彼は扉以外の道からやって来たからです。もし彼が扉(門)を通って来ていたら、彼は婚姻の衣服を受け取っていただろう。

51 ああ、これを聞いてください!では、婚姻の礼服が聖霊のバプテスマであるなら、他の方法でどのように示されるのでしょうか?最初の教会時代が扉(門)を通してこなければならなかった場合、キリスト・イエスは、イエス・キリストの御名にバプテスマを受け、聖霊のバプテスマを受けて、婚姻の礼服を身に着けます、私たちは他の方法で来ていますか?メソジスト派、バプテスト派、ペンテコステ派、またはその他の宗派を通して来た場合、あなたは縛られて外の暗闇に投げ出されます。あなたはキリスト・イエス、道、扉、真理、命によって来なければなりません。アーメン!

52 つまり、同じ声、黙示録21章、または、黙示録1:10と13。そして、私はあなたに気づいてほしいのです、彼が彼に話しているのを聞いた声はラッパの音の明瞭さを持っていました。あなたはラッパがどのように聞こえるかを知っています、それは甲高い音を出します。聖書のラッパとはどういう意味ですか?戦争。いつでもラッパが吹かれるの見る時、戦時中、聖書の時代においては、それは戦争を意味していたのです、あるいは啓示か何かが起こることを意味していました。

53 さて、彼は…教会時代が終わり、すべてが準備され、ここで第4章の設定を準備した後、その教会時代は終わりました。彼は終わられて地球を去っていたのです、ね。覚えておいてください、彼の後ろで、7つの金色の燭台で彼に話しかけた声は、仕事を終えていました。そして今、同じ声が天国で語られていました。それは何でしたか?彼は彼の民の贖いを終えられていたのです。彼の地上で仕事は終わっていて、そして彼は栄光にあり、ヨハネに「ここに上がってきなさい!」と呼びかけていました。ええと。アーメン!大晦日の夜に私を叫ばせる気分させます。ああ、何と!そういうことなのです。ほら、準備して「ここに上ってきなさい!」

戦争!これは大いなる戦いの舞台なのです。神のメッセージを拒否した人々、7つの教会の使者である聖霊を拒否した人々の。この恵みのメッセージを拒否した者には何も残っていませんでしたが、裁きの準備がされていました。ああ、彼は今、災害を地球に注ぐ準備をしている間なのです。「ここに上ってきなさい。そうしたら、これから後に起るべきことを、見せてあげよう」キリストを拒絶し、神を持たないの罪びとへ、私は彼らに私の怒りを注ごう。」

54 設定を見てください。ああ、私たちがその夜を過ごすとき、あなたがたはそれを常にますます多く得るでしょう。私たちはここにすべてを入れることはできません、私たちは場所から場所へと言及し続けなければなりません。最後のラッパが鳴ったとき、最後の戦いが戦われ、最後の説教が宣べ伝えられたとき、最後の歌が歌われたとき、そして私たちがキリストの審判の席に立っているとき、それはどれほどひどいことになるでしょう。「なぜそれを受け取っていないのですか?」と尋ねられるでしょう。私があなたに与えた命であなたは何をしましたか?」理由を尋ねられるでしょう。それは何になるのですか?

私とその歌を歌っているのを聞いたか、それを試してみました:  
それでは何ですか?それは何なのですか?  
偉大な書が開かれたとき、それから何が起こりますか?  
メッセージを拒否するものがある時  
理由を尋ねられますが、それではどうしますか?

この書が書かれているように確かに、そこに立つつもりです。あなたは…あなたはそこに立って、理由を尋ねられるでしょう。ああ、それは私たち、私の兄弟、姉妹、私たちに、一日の時間ごとに自分自身をチェックすることは、神の息子と娘として私たちに利益をもたらします。パウロは言いました、「日々死んでいる。しかし、私ではなくキリストが私の中で生きておられるから生きているのである。」分かりますか?あなたはいと高き方に答えるために召喚される予定の時はわからないので、チェックしてください。

55 さて、「ラッパの声を聞いた」よしヨハネが言ったことに注意してください、彼はここで、この第1章の最後の部分で言いました:

…最初の声は…主の日に御霊に感じた。そして、わたしのうしろの方で、ラツパのような大きな声がするのを聞いた。「ここに上がって来なさい、…」

ここに上がって来なさい!私はあなたに地球上の教会時代を示しました。ここに上がって来て、ここで何が起きていることを見せよう。

ご覧ください、キリストはその時地球を去りました、彼は栄光に上がりました、教会時代を通して、彼の御霊がここで終わられたことを示されました。そして、彼は栄光に行き、ヨハネに上がって来るようにと呼びかけていました、そして、彼は彼に他に何が起るかを示しました。「ここに上がってきなさい。」

56 さて、ここでヨハネによる福音書の2章の2節に注目します。急いで、ヨハネがこれを加えられたことに注目して下さい:

そしてすぐに…(アーメン!)

ああ、私がおかしく振る舞うなら、私はただ気持ちがいいです。ヨハネは加えました:

…すぐに私は御霊に感じていました:…

神の声があなたに話しかけるのを聞くと、何かが起こります。アーメン!ああ、それはそのようにあなたにも起こりましたか?それは、31年前に私に起こったことでした、そして私はそれ以来決して同じではありません。ああ、彼が言われたとき、「すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとに上がってきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。」それは私を変えました。

57 ヨハネは言いました:

…すすると、たちまち、わたしは御霊に感じた。(どんな御霊?聖霊ですねオー!),見よ、御座が天に設けられており、その御座にいますかたがあった。

ほら、ヨハネは今地球を去っていました。キリストは地を去り(聖霊の形で)、再びからだに戻られました。今日、からだは犠牲として、記念としてそこに座っています。私たちはこの章を通して正しくみて理解していきます。しかし、キリストの御霊は教会に生き、私たちの中に宿られるために戻って来られているのです。

58 さて、彼はここで彼の業の時代の終わりを示した直後に、彼は天国に行き、「私はこの後、教会時代の後に何が起るかをお見せします。」と言いました。彼は言った、「ヨハネ、私はここであなたと話をすることはできません。私はここを離れたので、私はより高くに上って来た。私と一緒にここに上がって来なさい!」アーメン!「そして、これから何が起るかをお見せします。」ああ、何と素晴らしい!うーん!ああ!幻に追いつき、栄光に追いつきました。

彼の経験はパウロのようなものだったに違いありません。第二コリント12:2と4、もしそれを置くなら。第二コリント…2から4。ある日パウロは幻の中にも入り追いつきました。ご存知でしたか?そして彼は、彼が話すことさえも不都合なことを見ました。14年、それについて言及することさえありませんでした。わかりますか?しかし、それらの違いに耳を傾けてください。

パウロが見たもの、それについて話すこと、またはそれを一般に公開することは禁じられていました。ああ、なんて事!私は彼がそれをする事ができたとは信じていません。(私が1日かかった小旅行で、私はそれを乗り越えたことは一度もありません。)ほら、彼は彼が話すことができないことがわかりました。彼には言葉がなかったと思いますが…彼は第三の天に間に合いました。ほら、第三の天で。

59 ヨハネが追いついてイエスを見たとき、彼はどんな風に違っていたのでしょうか?「あなたが見たものを本に書き、それを与え返し、教会に送り返してください。」と言いました。パウロは話すことを禁じられていました、そして、ヨハネはそれを教会の時代を通して全て書き本に入れるように頼まれさえしました。ああ、何という事!それは今明らかにされ、この終わりの時に明らかにされるためだったのです。それは彼の時代には明らかにされていませんでしたが、私たちが進むにつれて明らかにされたのです。

60 ああ、そして、注目してください、教会時代の直後に取り上げられたヨハネは、携挙された教会の類似でした。教会時代が終わったこのラオデキア教会時代の直後に、そして携挙が来ます。教会はヨハネがしたように、神のご臨在の中へと上がります。ああ、すごい!ヒュー!それはただ私の魂に風を巻き起こします。教会の携挙に追いつこう!そして、それは言いました…この場所、黙示録は教会時代の終わりを見るために書

かれたものです。

61 さて、ここで少し何かを得ました。多くのクリスチャンの間で長い間伝統的にぶら下がっていたものを片付けたいのです。そして今日、私は勉強していて、聖句を書き出し、名前や色や物を見つけることを考えていました。しばらくしてから、虹やシンボルなどについて説明します。私はここにこれらの聖句を書いていたので、もし私が進んでいけば、それらを振り返って参照することができます。「なぜなら、通常、私がこのようなことについて話すつもりなら、私は…それは違うでしょう、私はそれを暗記することを試みます。しかし、このように、少し時間があれば、私はそれを参照したいと思います。なぜなら、それは聖書全体を行き来するからです。

62 さて、マタイ16:13で、あなたがそれを聖句を書き出しているならば、私たちはこれを見つけます。マタイ…あなたが戻りたいなら…あなたがそれを開きたいなら、そうしましょう、マタイ16:13。それは…ああ、私たちは後ろに戻ってそれを読むだけで、それが確実になります。マタイ第16章、第13節。これから16章13節を読むので、しっかり聞いて下さい、「ペテロが来た時または：

イエスがピリポ・カイザリヤの地方に行かれたとき、弟子たちに尋ねて言われた、「人々は人の子をだれと言っているか」

彼らは言った、「ある人々はバプテスマのヨハネだと言っています。しかし、ほかの人たちは、エリヤだと言い、また、エレミヤあるいは預言者のひとりだ、と言っている者もあります」。

そこでイエスは彼らに言われた、「それでは、あなたがたはわたしをだれと言うか」。

シモン・ペテロが答えて言った、「あなたこそ、生ける神の子キリストです」。

すると、イエスは彼にむかって言われた、「バルヨナ・シモン、あなたはさいわいである。あなたにこの事をあらわしたのは、血肉ではなく、天にいますわたしの父である。

そこで、わたしもあなたに言う。あなたはペテロである。そして、わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てよう。黄泉の力もそれに打ち勝つことはない。

わたしは、あなたに天国のかぎを授けよう。そして、あなたが地上でつなぐことは、天でもつながら、あなたが地上で解くことは天でも解かれるであろう」。

そのとき、イエスは、自分がキリストであることをだれにも言っはいけないと、弟子たちを戒められた。

63 今しっかりと聞いてください。よし「時が始まった時から時が始まった時から、彼は…」私はもう一つ理解してほしいです、あなたはそれをここで読むことができます、28節を見て下さい。家に帰ったらあなたはその残りを読むことができますからです。

よく聞いておくとよい、人の子が御国の力をもって来るのを見るまでは、死を味わわない者が、ここに立っている者の中にいる。

ああ、考えてみてください!「ここに立っている者の中に、人の子が御国の力をもって来るのを見るまでは、死を味わわない者が、ここに立っている者の中にいる。」なんとという声明文でしょう!批評家がどれほどもそれを拾い上げ、彼がどれほど馬鹿であるかを示すのが好きなのか、見てください。どれほど彼はそれを握っておくのが好きで、そしてそれが実現しても、彼らはそれについて何も知りませんでした。分かりますか?よし

64 ペテロの岩の告白の後、我々がするように彼の告白は…主はこの同じ岩の上に彼の教会を建てます。ローマカトリック教徒がそれを言おうとしている、小さな石のペテロではありません。しかしペテロの啓示の告白、それが教会なのです。神はそれを明らかにされます。この人の告白ではありません、なぜなら彼は後で後退したからです。彼が神の御子であることの告白によるものでもありません。彼らは彼が神の子であることを知っていたので、ペテロがただそれを言ったのです。しかし、それは、天国から彼が神の子であることを明らかにされた啓示でした。言われたのです「あなたにこの事をあらわしたのは、血肉ではなく、天にいますわたしの父である。そして、この岩の上に、(その岩の告白)、私の教会を建てよう、そして黄泉の力(門)もそれに打ち勝つことはない。」

65 あまりにも早くここで時間切れにならないように望みます、これを終わらせることが出来るように。そして、それが人間にどのように流れ込んでいるのかを見たいのです。私たちがそこにたどり着くことができれば、ここでの美しい物語です。よしい、岩の告白、ペテロがしたのは…彼はペテロの告白のうえに彼の教会を建てます。彼は言った、「ここに立つ者の中には、神の御子が彼の王国に来るのを見るまで、死を味わわない者がいる。」

さて、覚えておいてください、彼は「者達がいる」と話しました。それは一人以上つまり複数でしたね？いくつかは沢山「一よりも多いつまり複数」なのです。しかし、今見てください、彼の弟子全員がそこに立っていました、そして彼は彼らの一人一人にこう尋ねていました、「これについてどう思いますか？そして、それについてどう思いますか？」しかし、彼は、「ここに立っている者の内に、ここに立っている何人かは、人の子が彼の王国に来るのを見るまで死を味わうことのないものがある。」と言われました。ああ、何という事！なんという声明文でしょう！2000年前にそれが述べられたということを考えてください。

66 それは…でしょうか…神の御言葉は完全無欠ですよ？彼が言われたすべてのことばはおこるのですか？

さて、私たちが望むなら、マタイによる福音書の第17章を次に開きます。彼が連れて行ったとき…その数日後、彼はペテロ、ヤコブ、そしてヨハネを別の山に連れて行き、離れて、証人とするためでした。ペテロ、ヤコブとヨハネ、そして彼らは神の王国が権力を握るのを見ました、彼らは神の王国の来臨がリハーサルされるのを見たのでした。アーメン！ああ、彼らは神の国が至福千年の始まりの内にリハーサルされる景色を見守るために連れて来られました。彼らはリハーサルを見ました。

67 少し前に…大勢のミニスター達がありました、オーラル・ロバーツはその一人でした。セシルB.デミルは、この十戒を書いたとき、彼はシャカリアン兄弟、ロバーツ兄弟、国中の多くの説教者と呼ばれ、説教者は誰でも来ることができ、写真が公開される前にスタジオに来るように招待し、25ドルのチケット代が必要だった時にそれが公開される前の試写を見せました。しかし、彼は…彼らはそのリハーサルを見ました、彼らはそれについて何か批判があるか否か、あるいは何が言えるかなどについて彼らの意見を渡すかもしれないと言った。彼らは公開される前にそれを見ました。

68 そしてイエスは言われた、「あなたがたここに立っている者の内に」(アーメン！)「彼らが神の御国が権力を握るのを見るまで、むしろ「人の子が彼の御国に来るのを見る」まで、死を味わうことはありません。「人の子が彼の御国に来るのを見る！」その数日後、彼はペテロ、ヤコブ、そしてヨハネを連れて、高い山に登りました、そして、彼は彼らの前で変容されました。太陽が輝いていました、彼が着ていた衣服のようではありませんでした。たとえ話を何度も繰り返したので、聖書をよみましょう！

69 あなたは聖句のテキストを一つ取り、聖書全体をそれと結びつけることができます。はい、そうです。どこにも漏れはありません！それはすべて神の力で塗りつぶされています。悪魔は彼がしなければならなかった場合、絞り込むことはできませんでした。そうです。彼は、彼らの証を出して神の王国を信じ、聖典をすべて取り、聖霊の力でカバーされ、血の中に洗われた聖徒の中入ることはできません。世はそれに入ることができません、悪魔はそれに入ることができません。彼らは死んでおり、彼らの命は聖霊によって神の封印を通してキリストの内に隠されています。悪魔はどうやって彼らを悩ませることが出来ますか？うーん！彼らは今、この状態にあります。

70 この場所で、彼は来てその再臨、またはリハーサルを見ました。そして、彼が最初に見たものは何でしたか？彼が最初に目にしたのはモーセが来られた事でした。復活するであろう死んだ聖徒たちを表しています。エリヤはそこに立っていました。

ああ、何が起こるか気づいてほしい。最初にモーセがいました。それは彼らが眠ったこれらの6つの時代、6つの教会時代です。それだけでなく、エリヤもそこにいました。終わりの時の日の御使い共にいる変容し携挙した彼のグループアーメン！今、未来に。その来臨を待っているのです。

そして、彼らはすべて何をしていますか…？みんなが彼と集まったことがありました。ああ、素晴らしい！それは何でしたか？ペテロ、ヤコブそしてヨハネへの彼の約束は成就されました。そうです。なぜなら彼は「人の子が御国の力をもって来るのを見るまでは、死を味わわない者達が、ここに立っている者の中にいる。」と言われました、彼らはそのリハーサルを見たのです。そして、この後、復活の後…

71 もう一つの事を皆さんにご紹介したいのです、イエスが死んだ後、埋葬された後、ヨハネによる福音書21:20。ある批判家たちはこれを初期の時代から始めました。それでは、その学びをしている間に、それを片

付けてしましましょう。ヨハネによる福音書20:21で、イエスは弟子たちに会い、火の上で魚とパンによって彼らに食べ物を与えました。そして、彼らが堤防を上ったとき、ヨハネは彼の胸に寄りかかっていた。そしてペテロは質問をして、「この人には何が起るのですか?」と言いました。イエスはヨハネを愛していました、ヨハネは愛の人でした。そして彼は言いました、「この男はどうなりますか?彼の財産になるのは何ですか?彼の将来はどうなるのだろうか?」

そしてイエスは彼らに言われました、「たとい、わたしの来る時まで彼が生き残っていることを、わたしが望んだとしても、あなたにはなんの係わりがあるか?」それは何ですか?」

そして弟子たちは間違いを犯しました、彼らは「イエスが言った—それは彼が「来るまで生きる」と言った」と言いました。

しかし、イエスは間違いを犯してはいませんでした。ちょうどこの黙示録のここ、第4章で、キリストは御言葉を守られました!彼はヨハネを天国に連れて行き、すべての事を彼にリハーサルしました。栄光!彼—ヨハネはプレビューを見たのでした。彼はまるで地上に生きているかのようにそれを見たのでした、教会時代全体が来て、主の来臨に至るまで、黙示録の書全体を見たのでした。ああ、何と素晴らしい!

72 ほら、どれほど彼の約束が完全無欠であるかが分かりますね?さて、あなたは選ばれているのです…ヤコブはそれをしてヨハネ、残りの彼ら全員。パウロにそれを見させないのでさえ、それを告げてみて下さい。何も無いのです。

彼は言いました、「私が来るまで彼が生きていたとしたら、あなたに何のかかわりがあるだろうか?」

そして、彼らがそう言っていたので、彼はヨハネを選び、彼を連れて行って、彼が死ぬ前にさえ、彼がすべてを生きていたかのように、彼にそのすべてを通して見せました。それが何であるかを彼に示しました!(パット兄弟、それは素晴らしいことではありませんか?)ああ、ほら、彼をそこですぐ選んだのです。ちょうどここ、第4章の2節がそれを証明しています。「彼は彼にあるもの、あるもの、そして来るべきものを示しました。」イエスはヨハネに教会時代、ユダヤ人の到来、疫病の蔓延、携挙、再来、そして千年紀、そして彼の救われた者の永遠の家を示しました。まるで彼がすべてを生き抜いているかのように、彼はそれがすべておこる事を見ました。分かりますか?分かりますか?彼は彼を連れて行って、彼が回している映画を見せて、すべてがリハーサルされているのを見せられました。ああ、何と素晴らしい!

73 彼は追いついたのでした。黙示録4:2での彼の約束を果たしました。彼の死の前に彼は御霊に感じて、まるで彼が生きているかのように物事を見ました。彼は、すべてがリハーサルされているのを見ました。このように、彼は幻の中で、その時から主イエスの来臨までに地球上で何が起こっていたか、そして何が起こったのかを正確に見ていたのです。それを幻の中で彼に見せたのでした。

それで弟子たち…あるいは彼がその時代に来ると言ったと誰も言ったことはありませんでした。彼は言った、「もし彼が私が来るまで生き続けたとして、(そうでなければ)それがあなたに何のかかわりがあるのか?」それから彼は彼を連れて行き、彼にその物事をリハーサルして、何が起るかを彼に示しました。ああ、私はそれが大好きです。うーん。ああ、何という事!

74 注目して下さい、今、これが何であったかを見てください。

すると、たちまち、わたしは御霊に感じた。見よ、御座が天に設けられており、その御座にいますかたがあった。

そこには彼を呼ぶ「声」がありました。ああ、その声!ああ、私はそれから逃れることはできません、彼の後ろからくるあの方の声。それから彼は周りを見回しました、そして彼は彼が教会時代に立っていたので彼はすべての教会時代を見せました、7つの金色の燭台。それから彼は、教会時代が終わった後の声を聞きました。その声は地球を去り、上がって行きました。彼が栄光に入ると、彼は彼が言われる声を聴きました「ここに上がってきなさい!これから何が起るかを見せてあげよう。」ああ、すごい!

75 その声!その声について少し話しましょう。私はここにいくつかの聖句を書き留めて置きました。第一テサロニケ人への手紙4章に行きましょう、そしてただこの声が言うことをここで聞いてください。ああ、私たちは皆、それが何を言うかを知っています、それがなければ…読む前に違いますかね?私たちは何が起るかを知っています。「神のラツパが鳴り、キリストにある死者達がよみがえる。」そうですか?第一テサロニケ人への手紙第4章16節と17節の「声」でそれを書き留めているあなた方、その声はキリストの声でした。そうです

か?キリストの声!

なぜなら、神のラツパが鳴り、キリストの死者が最初に蘇るからです。

…生きていて残っている私たちは彼らと一緒に追いつくのです…空中で主に会い、永遠に主と一緒にいることになるのです

76 ヨハネを召喚したのと同じ声、「上がって来なさい」とヨハネに言ったのと同じ声は、いつか教会を召喚するのと同じ声です(アーメン!)、教会を召喚します。

また、ヨハネを呼び寄せた同じ声は、死んだラザロを墓から召喚したのと同じ声であり、その大天使の声と同じです。キリストは大天使の声です、「大天使の声」ほら。ああ、そのラツパの声であるキリストの声がヨハネを呼び起こし、同じ声がラザロを召喚しました。ラザロの墓でのことで、彼は大きな声で話したことに気が付いていましたか(「ラザロ、出て来なさい」とただ言われたのではありませんでした。)  
「ラザロよ、出て来なさい!」それは彼を死から召喚しました。

そして彼は答えました、「私はここにおります」。そして彼は死んだところから来たのです、彼の体が腐った後、死んだ後に来たのです。

77 その同じ声がヨハネに言いました、「ここに上がって来なさい、私は起こるように決めているいくつかの事を見せてあげよう。」

キリストの死者がよみがえるときに鳴る同じ声、「ラツパの声がしたら…」ラツパ!ラツパとは何ですか?キリストの声、同じ方の声が彼を引き上げる召喚をしたのでした。彼はラツパのように声を聞き、「ここに上がって来なさい!」と言っていました。復活がどのようになるか見てください?瞬く間に、瞬く間です。その明確な響きの声と彼は教会を召喚し、「それから出て来なさい」と呼びます。その素晴らしい召喚の声。神様、私がおの日それを聞くのを助けてください。

78 私がよく言ったように…私は死すべき者であるロドニーとして、私の前に大きな暗い扉があり、それを死と呼ばれていることを知っています。心臓が鼓動するたびに、私はその扉に近づいているのです。近いうちのいつかに、それに入って行くことになるのです。しかし、私は臆病者のように、叫び声を上げて叫びながらそこに行きたくないのです。私はこの中に入って、彼の義のローブに身を包み、これを知りながら行きたいのです:彼の復活の力で彼を知っています。彼がいつか呼ばれる時、私は死者の中から出て来るでしょう。彼が私をいと高き場所に現れるように召喚したとき、神のラツパが鳴り、キリストの死者が起きるとき、私が生きているなら、瞬く間に変わり、私は一緒に行くでしょう彼らの残りは、空中で主に会うために。ラツパの音ははっきりと大きく聞こえます。うーん。ああ、それは彼の来臨の時も同じになるでしょう。

79 それについて不確かな音はありません。ヨハネがその「上がって来なさい」と言う声を聞いたとき、ヨハネには何も不確かなものはありませんでした。そして彼は来たのでした。アーメン。

ラザロが死んで、墓の中に居て。そして彼の魂、どこかへの4日間の旅をしていた時、私はそれがどこにあったのか分かりません、私たちは誰もそうは思いません。それがどこにあっても、少しの違いもありませんでした。彼はただ、墓の中で彼の体が虫に食われて臭くなっていたその人を召喚されるために呼ばれただけでした。その明確に響くラツパの音が「ラザロよ、出て来なさい!」と言いました。そこで、死んで腐った男が首を横に振って、墓から歩いて出て歩きました。兄弟たち、それについて不確かなことはありませんか?そこに不確実性はありません!

80 今夜も同じことが言えます。はっきりと響く声が「罪人よ、悔い改めよ、私はあなたに永遠の命をあげます」と言っているのです。「悔い改めなさい。そして、あなたがたひとりびとりが罪のゆるしを得るために、イエス・キリストの名によって、バプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖霊の賜物を受けるであろう。」それが召喚です。それについては何も不確かなものはありません。

私はそれが真実であることの証人です。今日、世界中に数百万人の証人がいます。それが真実であることの証人です。聖書が来るとき、神の言葉、神の言葉はすべてラツパなのです。みことばのすべての音はラツパ、福音のラツパなのです。そして、それが音を出すとき、真理なのです。それが「イエス・キリスト、昨日も今日もいつまでも変わることがない」と言ったとき、それについて何も不確かなことはないのです。彼は変わっていません!はい、そうです。

81 「悔い改めなさい。イエス・キリストの名によって、バプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖

霊の賜物を受けるであろう。」それについては何も不明確なものはありません。

「わたしの言葉を聞き、わたしを遣わした彼を信じる者は永遠の命を持っている。私を信じる者は、死んでいたとしても彼は生きるであろう。私の内に生き、信じる者は決して死なないであろう。これを信じますか？」それについては何も不明確なものはありません、「彼は生きるであろう！」

「私の肉を食べ、私の血を飲む者には永遠の命があり、私は終わりの時に彼を蘇らせるであろう。」それについて何も不明確なものはありません。何も;それは確かな音なのです。

ああ、私はそれを知っています、私はそれが私のいつか貧しいアイルランドの心の中でその音を聞きました、私、小さな年寄りの罪人。どのようにそれが私のためになされるのでしょうか?でも私はそれは特定の音だったと信じてそれを受け入れました。私はそれが真実であることの証人です。

いつの日か彼は再び召喚し、私たちは世界の外に出るのです。なぜなら、そのラツパについては不確実なことはありません。はい、そうです。はい、いつでも、不確かな音はありません。

彼は今日彼が私たちに召命されるときに鳴るのです、それはただ彼が私たちに何かを言うときも同じです。

82 さて、その聖句に戻りましょう:

見よ、御座が天に設けられており、その御座にいますかたがあった。(第2節)

「御座」に注目してください。彼は御座に座っていました。彼はもはや地上の燭台の中にはおられないのです。携拳は来ていました。彼は栄光にあり、御座に座っていました。私はあなたにそこで気づいてほしいのです、私たちは第5章にさえ見つけることで、それは憐れみの御座ではありませんでした。それはもはや憐れみの御座ではなく、裁きの御座だったのです。それは恵みの御座ではなく、火と稲妻と雷がそれから発せられたので、裁きの御座なのです。もはや憐れみは終わり、教会時代は終わりました。「不義な者はさらに不義を行い、汚れた者はさらに汚れたことを行い、義なる者はさらに義を行い、聖なる者はさらに聖なることを行うままにさせよ」憐れみの御座はも早そこにはありません。

83 今夜、血がその御座にかけられており、憐れみを求めるすべての罪人のための憐れみの席なのです。しかし、その日には、それは憐れみの御座ではなく、怒りの神がそこに座られる裁きの御座となるでしょう。「そこには…義人がほとんど救われないなら、罪人であり、不信心なものはどこに現れるでしょうか?」彼が彼の栄光の雲の中に来たときでさえ、山は隠れる場所を見つけようとします。その時、我々はどこに滞在するのでしょうか?

何て尊いその流れ  
それは私を雪のように白くする。  
他のどのような泉も知らない  
イエスの血の他にない。

84 ああ、素晴らしい、なんといい教訓でしょう!不確かな音はありません!そして彼の御座:

…そして彼は御座に座った。(彼はもはやここにはおられない。)

さて、それはまた別のことで、それは教会が大患難の前に追いつていることの証拠なのです。分かりますか?なんで?ここで彼は栄光の御座におられます、そして教会が上がって行き、それから患難に来るのです。

私はいつも、ノアの時代、ノアは箱舟の中に、一滴の雨が降る前にいたと言って来ました。火が落ちる前に、ロトはゾドムの外にいました。そして教会は原子爆弾が落ちる前に栄光の内にあるでしょう。そうです、原子爆弾が落ちる前にです。

「その最初のものはどうですか?」と言います。それはクリスチャンではなく異教徒にありました。

85 さて、気づいてください。ああ!彼は地上で彼の働きを終え、彼の教会を連れて行かれました、そして今彼は裁きを送られるのです。世は彼を拒否しました、そして彼の裁きを送ります。彼と彼の教会は栄光に行きました。

ヨハネ、教会の啓示者であるパトモス島にいた彼は、栄光に引き上げられた教会のタイプでした。「ここ

に上がって来なさい!」示していたのです…

あなたは「彼は教会を代表していましたか?」と言います。

このみことばを聞くすべての人に、ヨハネは彼を現わしていました。アーメン!ヨハネは御言葉の証であるイエス・キリストの血潮の代表でした。彼はキリストとの個人的な交わりを持つ聖霊のバプテスマの証人であり、彼は教会全体を代表していました。キリストを信じたすべての男性、女性、少年、少女が同じ理由でイエスを受け入れれば、彼はいつか「ここに来上がって来なさい!」と呼ばれるでしょう。患難の前に追いつくために。患難の時間はまだ入り込んできていないことを覚えておいてください。

今こそ、裁きの設定の時なのです。ヨハネは今、教会時代の後に何が起こるかが示されています。分かりますか?それは、そうでした。

86 さて、第3節、または第2節で、「御座が天に設けられており、その御座にいますかたがあつた。」ことに再び気づいてください。さて、地上にいた同じ御霊は去って、栄光に行き、憐れみの内に座っておられたのです(今夜私たちと一緒におられる変わることはないイエス様)が、栄光に行かれて、御座に座っていおられました。

その座にいますかたは、碧玉や赤めのうのように見え、また、御座のまわりには、緑玉のように見えるにじが現れていた。

87 説教する兄弟が他にもいるので、私は辞めます。多分、朝ここからまた始めましょう。そして、「緑玉のように見える。」のです。ああ、何という事!ああ!

ほとんどどこにでも人がいます、

誰の心が燃えていますか(あなたはそれを好きではありませんか?)

…ペンテコステに下った火、

それが浄化し、それらをきれいにしました。

ああ、それは今私の心の中で燃えています、

彼の名に栄光を!

私は彼らの一人であると言えることがすごくうれしいです。

88 ヨハネは、主イエスによって召され召喚され、神はそこに戻って、人の子の来臨を見ることになることと約束されました。ペテロ、ヤコブ、ヨハネ、そして彼らが立って立っているときに、イエスが彼らに話しかけ、「人の子が来るのを見るまで、ここに立っている者の中に死を味わうことがない者達がいる」と言われました。彼はそこに立っている「すべてが」とは言われず、「味合わない者達がいる」と言われました。そして彼らが行った数日後に、復活の秩序がリハーサルされ、主の来臨を見たのでした。

エリヤは死んだ聖人達を代表していました…モーゼの事でした、復活したものでした。エリヤは移された者達を代表していました。覚えておいてください、モーゼが最初で、その後がエリヤでした。エリヤは終わりの時の御使いとなることになっていました、彼と彼のグループとが共に復活に来るでしょう…まあ、それは携挙が来るという意味です。モーゼは復活をもたらし、エリヤは携挙させられるグループをもたらしました。そして、そこでは、彼らの両方がそこで代表にされていました。

89 そしてしばらくして彼らはそれに気づき、彼らはそれを見てペテロは言いました、「3つの幕屋を建てましょう。一部の人を律法に、一部の人をエリヤのもとに行かせ、この方法で(そのうちのいくつかを)行こう。」

そして、彼らがまだ話している間に、声が話し、「これは私の愛する子、彼に聞け。」と言われました。そして、彼らが見たとき、彼らはイエスだけを見ました、全てがその方の中に入ったのでした。ああ、そして彼は光、真理、道、扉、虹でした。

90 あー、御心ならば明日我々は素晴らしい学びをえることになる。明日は「裁き」を。私たちは「イワシの石」を取って、それが何を表しているか、それがどのような役割を果たしたかを見てください。そして、私たちは「碧玉」を取り、私たちは…すべての異なる石を取り、そしてこれらすべてをエゼキエルを通して創世記に戻し、黙示録に戻って、聖書の真ん中にやってきて、それを結びます一緒に、これらの異なる石や色などを学んでいきます。そして、それをまっすぐに戻して、それが正しくないかどうかを確認します。分かりますか?それが同じ色やすべてではなく、まったく同じかどうかを見て下さい。そして、同じ聖霊、同じ神、同じしるし、同じ奇跡を示し、神が約束されたのと同じことをするのです!

91 彼はペテロ、ヤコブとヨハネと彼ら、つまりそこに立っている彼の弟子全員に言いました、「あなた方の何人かは彼の御国に来る人の子を見るまで死を見ないでしょう」。

ヨハネに言ったと、…ペテロは言いました、「あなたは彼と何をするつもりですか？彼は…それは、そのひと、彼に何が起こるのでしょいか？」

彼は言った、「彼が私に来るまで生きていて見たとしたらあなたに何のかかわりがあるのか？」そして彼はそれを見るために生きさせました！彼らの残りの人々が死んでなくなった後、ヨハネは力によって主が来臨されるリハーサルされるのを見るまで生きていました、彼の時代から裁きが終わり、千年紀が発行されるまでの全シーンが置かれていました。ヨハネはその全ての部分を見ました、そして至福千年がおわり 御国の時代が始まりました。ですから、彼は御言葉を守っていますね？

92 2節に印をつけます。御心ならば、私たちは朝、3節から始めます。

頭を下げましょう。

今夜、この教会で、私の兄弟、(姉妹)、の何人があなたがたが準備ができているかどうかにかかわらず、いつか召喚されることを知っていますか？準備ができているといまいと、神に会うために召喚されます。そのラッパが鳴るでしょう。そしてそれが起こるとき、それはあなたを罪に置く音のように聞こえます、そこであなたは二度と生きることができず、あなたは多分何百万年もの間悪魔の地獄の穴に苦しめられるでしょう、またはそれはあなたをいと高きところに召喚するであろう、栄光の聖人達に会うために。

93 神がペテロ、ヤコブ、そしてヨハネに御言葉を守られたのと全く同じように。彼が愛するヨハネ、啓示者にそれを守ったのと同じくらい確かなことでした。彼が教会の時代を通して彼の約束を守ったのと同じくらい確かです。彼がこの終わりの時に彼が後の雨の中に送られて、同じ霊が彼の内にあって地上に帰って来ることを約束されていることは確かなことなのです。光は夕暮れの時に来て、同じ力、同じしるしを示すでしょう、そして彼が彼の時代にしたことすべて彼は終わりの時にこの「開かれた扉」でそれを再び示されるでしょう。

これがそうなのです！私たちは今正しくそれを理解しました、聖霊、イエスキリストは昨日も今日もいつまでも変わることがない方なのです。あなたは…それはあなたに説教し、それはあなたに教えています、それはあなたに何が正しいか間違っているかを理解させようとしています。それは、聖霊ご自身が人間の唇を通して話し、人間の間で働き、憐れみと恵みを示召そうとなさる事なのです。

そして、あなたはまだ彼を受け入れていないなら、そして、この大晦日の夜、あなたは神に手を挙げて、「神様、啓示者ヨハネにあった力を受け取らせてください。私はあなたの前に彼のように平和の裡会って現れ召喚される時にして下さいますか？」手を挙げてください。神の祝福がありますように。神の祝福がありますように。ただ教会全体にいますね。神の祝福がありますように。「私の召喚に答える準備をさせてください。」

94 私たちの天のお父様、この大晦日…今ちょうど約2時間で終わり、新しい年が来るでしょう。今年私たちがしたことは、私たちがしたことです。私がやったことの多くは、自分自身を恥じていることです。主よ、私はそれらを悔い改めます。

そして、私の兄弟たちの多くが理解していなかったことで私がしたことがたくさんあります。フィールドにいる私の兄弟の多くは、なぜ私がそれらをやったのか理解していません。しかし、父よ、私はそれらをするように導かれたので私はそれらをしました。父よ、私がその導きを恥じいらせられることをなさらないようにと祈ります。主よ、引き続き私がするように導かれたことをするように導き続けて下さいますように。神よ、私を助けてください。私はあなたの意志を真摯に知りたいたいと思っているので、私はそれをしてあなたが何年も前に私がこの教会を去ったときに私に命のパンを世界中の人々にもたやすためにそれをする事ができますように。そのパンの大きな山と、この命のパンを食べるために世界中から白衣の聖人がやって来るのを見たとき。神様、どうか私に聞かせてください。神よ、私に命のパンで人々を養うことを決して、絶対に失敗させないでください。

95 今、現在、ここにいて手を挙げてこれらの飢え渴いた魂を祝福してください。彼らはもっと命を求めているのです。主よ、彼らの一人一人を聖霊で満たして下さいように祈ります。神様、それを認めて下さいますように。彼らに祝福を与えて下さい。どこにいても、わたしの兄弟たちを助けてください。

私たちの奉仕している兄弟たちを祝福してください、再び、上がってることが決められています。まもなく、他の人たちが話します。私たちは彼らが今夜、命のパンを私たちに与えられるようにと祈ります。父よ、私たちは敬虔により近くその声を聴こうとしています。それを認めて下さい。

祝福してください。そして、この新しい年が新しい希望、夜明け、新しい考え、新しい啓示、新しい力、そのすべてをもたらしして下さいますように。主よ、あなたの祝福と約束を再び更新されますように。私たちは祈りをもって、あなたの手に身を委ねます。イエス・キリストの御名によって。アーメン。

私の兄弟姉妹たち、ありがとう。

[ネヴィル兄弟が話します。「私たちは皆、私たちがまったく急がないでいた事を喜ぶことができると確信しています。ただ聞き続けられて喜びを得ました。ブランナム兄弟が今夜ここに私たちにこのメッセージをもたらしたからです。そして、神がその中にいることを我々は知っているのです、それは私たちに励ますメッセージなのです。アーメン。」— 編集。]主を褒め称えます! [「そして彼が言ったことについて、彼は彼の再臨にさえそれを実行することがお出来になるのです。】はい。[そして、彼はそれをなさるでしょう、それだけでなく、私はしばしば「イエス・キリストがあなたを癒すことができると信じていますか?」と人々に何度も言いました。彼らはそれに同意します。もちろんあなた方は普通に彼らにそれを与えることが出来ます。しかし、そのことについての物事は、あなたが彼が今あなたを癒すと信じていますか?なのです。]アーメン! [「それから、時々人々は「まあ、私は知りません。」と言うことがあります。病院で亡くなったばかりの女性。彼女に会いに行き、言った、「姉妹、あなたはまだイエスが救うと信じていますか?」彼女は言いました、「はい、そうです。」私は言いました、「あなたはイエス・キリストが癒されると信じますか?」彼女は言いました、「そうです、そうです。」私は言いました、「あなたは彼が今あなたを癒していると信じますか?」彼女は言った、「それは私にはわかりません」。そして私は言いました、「姉妹、あなたへの約束はあなたにあるのであなたはそれを知ることができます。】アーメン! [「アーメン。彼は約束をしました。さて、我々はもう一人の私たちの兄弟からここで聞くことになります。私たちは周り数人がいて、そしてこれは…大晦日には、事前に手配されたプログラムはありません。私たちはただ集まり、神が導き、導くように神に動かしてもらいましょう。]アーメン! [「そして、ご存知のように、パット・タイラー兄弟が彼の証言や主が彼の心に置いたものをすべて聞いたのは久しぶりです。そして私たちはパット兄弟に神が彼の心に置いたものを何でも持ってくるように頼むつもりです。しかし、彼が昇って来る前に、そこに戻ってきた良いクリスチャンの兄弟、ランドールハイマン兄弟、そして彼はここにおいて、彼には主が歌う才能があり、あなたがたは知っています。私は彼にその才能を神の栄光のために使えるようにしたかったので、私はランドール兄弟に来て私たちのために歌ってもらえるかどうかを尋ねます。彼はここでいままで1~2回私たちのために歌ったことがあり、今夜、主イエスのために彼の才能をもう一度使うように頼みます。もし彼が今私たちのために歌うために来るなら。彼は、彼が世話をするのを手伝っている若者を何人か連れてきましたが、多分彼はそこから離れて上がって来て私たち為に歌うことが出来るでしょう。彼がそうしている間、私たちはここにキンダー兄弟が追われます。愛するペンテコステ派の兄弟、私たちは彼のために幸せです。そして、J・T・パーネル兄弟がどこかにその後ろの方にいました。彼はこの列の外側に座っていると思います。そして、これらのすべての良いクリスチャン兄弟がおられてものすごく幸せです…」]そこにビーラーがいます。[「…信仰の兄弟、そして見てみましょう。]ビーラー兄弟がその後ろの方におられます。[「兄弟ビーラーもこの後ろにもおられます。はい。ビーラー兄弟がここにおいてまた…」]



www.messagehub.info

伝道者

ウィリアム・マリオン・ブランナム

"...第七の御使いが吹き鳴らそうとしているラッパの音が響くその日には..." 黙示録 10:7